



## 教育実習 ～卒業生の言葉1～

6月2日から6月20日まで教育実習の期間でした。今年は総合学科を3年間過ごした初めての卒業生の皆さんが実習生として本校に戻ってきました。

2～3週間、教材研究と授業実施、クラス担任業務、体育祭準備等と目の回る日々であったと思います。

実習生の皆さんにインタビューを学校として実施しました。大変貴重な言葉が多く全ては掲載できませんので、今回はその一部を掲載します。残りは次号とします。

Q:緑園総合高校に入学したいと思った理由は何ですか。

A1:たくさんの授業の中から自分自身のやりたいことを見つけられるのではないかという想いで入学を決めました。入学すると授業で会う仲間が毎回違うためクラスの輪を超えた繋がりが出来ました。

Q:高校時代に選択した科目で特に印象に残っている科目は何ですか？また、その理由も教えてください。

A1:「映像と文学」です。小説を読んでからその作品の映像化作品を鑑賞して、表現を比較する…という授業でしたが、この授業がとても楽しくて、大学に進学しても似たような講義を受講しています。

A2:私は高校時代、理学療法士になりたいと考えていたので、生物や化学、コンディショニングプランなどの授業を履修していました。また、夏期講座にも参加し「赤十字救急法救急員」の資格も取得しました。「コンディショニングプラン」では、人間の身体づくりなど普通科では学べないことを一つの授業として学べました。

## 全公立展 ～素直さとさわやかさ～

6月14日(土)にパシフィコ横浜で「かながわの全公立展」が開催されました。とに分かれ、一日日程で学校説明を行う催しです。主催者によれば約3万5千の来場者があったそうです。



本校でも、9人の教員と1年次生23名と2,3年次生5名の生徒の皆さんで学校の魅力を伝えました。生徒の皆さんは午前と

午後で分かれて、来場の方に本校のチラシを配ります。5000枚を準備したチラシは生徒の皆さんの明るく大きな声かけのせいでしょうか、午後1時には配り切ってしまいました。みなで声を揃えていかにも楽しそうに声をかけ続けるので、来場された方や周囲の学校の先生方から、「元気があって素直でさわやかですね」とお褒めの言葉をいただきました。

学校紹介の展示に興味を示された方には、基本的には教員が説明をしますが、何人かの生徒の皆さんは、自ら説明しようと声をかけたりします。来場された方に見ると、どんな情報よりも生徒の皆さんから得る印象や生の情報が貴重です。積極的に学校の魅力を伝えようとする生徒の皆さんの気持ちが本当にうれしかったです。

## 生徒インタビュー～世界を舞台に踊る夢～

1年次1組の住谷茉奈実さんは、夏季休業を利用してカナダのバンクーバーにあるゴー・バレエ・アカデミーに1ヶ月、留学します。そこで話を聴きました。

住谷さんは小学校2年生からバレエスタジオで練習に励んで来ました。自分の性格を負けず嫌いとし、分析する住谷さんは、バレエスタジオでも日々努力を重ね、数々のコンクールに挑戦をしてきたそうです。以前から、留学をして世界を感じたい、知りたいと思っており、そのチャンスをずっと探し続けていたそうです。そしてチャンスがめぐって来ました。



今年の4月初旬に海外留学生を選考するワークショップがあり、見事、学費免除の特典のある留学資格を勝ち取りました。カナダのバンクーバーにあるゴー・バレエ・アカデミーというバレエ学校に留学し、夏の1ヶ月を外国の地で、様々な国の人々と切磋琢磨することになります。

不安はありますかという問いに、住谷さんは「楽しみで仕方がありません。外国の方々の踊りをしっかりと目に焼きつけ自分のものにしたいと思っています。できれば将来は海外でバレエを仕事にしてみたいと考えています」ときっぱりと答えてくれました。

すでに自分の将来を見定めて一直線に走っている、住谷さんの姿にすがすがしい気持ちになりました。世界を舞台に活躍する日が来ることを期待したいと思います。

校長 遠藤 誠